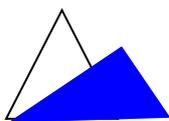


せせらぎ



2019年8月

No. 361



滋賀県勤労者山岳連盟 湖南岳友会



目次

1. 表紙からのメッセージ	P. 1
2. 私のひとりごと	P. 2
3. 山行募集<涼を求めて修学院から比叡山>	P. 3
4. 山行募集<呉枯ノ峰 菅山寺>	P. 4
5. 登山報告<湖南アルプス 大戸川吉祥寺谷>	P. 5
6. 月間山行記録	P. 8

今後の予定

1. 7月27日(土)	定例会議 コミセンやす
2. 7月28日(日)	例会 福井・日野山
3. 8月4日(日)	例会 比良山系白滝谷・沢登り
4. 8月14日(水)～17日(土)	例会 雲ノ平縦走
5. 8月25日(日)	例会 比叡山
6. 8月31日(土)	定例会議 草津市民交流プラザ
7. 9月1日(日)	例会 呉枯ノ峰

表紙からのメッセージ

★暮らしの中にある三上山

大好きです、何時までも登りたい♪☀

N. T.

私のひとりごと

今年の3月末に再雇用期間が終わり、現在、失業中です。2月に、山で偶然知り合った方に、テニスサークルを紹介していただきました。最近、毎日のようにテニスに出掛ける日々が続いていますが、25年のテニスゲームの空白は如何ともし難く、自分の力では中々勝つことが出来ず、試合に負けると多少悔しい思いをしています。このように多くのスポーツでは勝敗があり、そのグループ内で、ランキングという形で評価されます。ただ面白いのは、技術的に多少劣っていても、勝ちたいという強い意志があれば、泥臭く勝つことが出来るということです。どのポイントでも、集中して攻撃的にゲームを進めることが大切です。リードしていても、守りに入れば、負けてしまいます。

しかし、山登りとはいうと基本的に勝ち負けのないスポーツです。最近、労山の設立にも関わった吉尾弘さんの「垂直に挑む」という本を読みました。その中の多く登攀記は、昭和30年代に行われた日本国内での冬期初登攀競争という古き良き時代の話です。ほとんど登攀で、吉尾さんは、トップで登っています。今も語り継がれる多くの著名な登山家と一緒に登っているのですが、滑落の危険性のあるトップで登攀は、彼の技量がいかにか際立っていたか窺えるのではないかと思います。初登攀競争は、登山の中では数少ない勝ち負けのあるゲームですが、残念ながら今の日本には、殆どこの様な競争の対象となる壁は残されていません。この登攀記は、冬期初登攀競争に賭ける吉尾さんの強い情熱を感じることが出来て、読んでいるうちに自分もその場にいるような錯覚さえ感じてしまいます。

さて、私の山登りとはいうと、7年程前に滋賀の冬の峠に登って写真を撮りたいと思い、色々考えたのですが、山スキーで行けばトレースのない雪の道も時間短縮できるのではないかと思います、山スキーのセットを揃えました。私の目的には、やや高価で最新のスキーセットでしたが、今では、山スキーの主流は、このタイプのスキーとなり、この時の選択がとても良かったと思っています。以来、毎週土日にスキー場に通りスキーの技術を磨き、漸くなんとか山に行けるレベルになったかなと思っています。しかし、スキーは思いの外、難しく、奥深いものと、近頃感じています。更に、技術を磨いていく必要があると思っています。ただ、年齢と共に、体力や気力の衰えを感じています。

何事も年齢のせいにして妥協的な道を進もうとしている私ですが、まず、気持の面からから、現在の自分に挑戦して行こうと思っています。これは、テニスや吉尾さんの本を読んで、私なりに感じたことです。山登りも更に身体を鍛えて、新たな挑戦して行きたいと思っています。湖南岳友会の皆様よろしく申し上げます。

びわっこ

涼を求めて 修学院から比叡山

実施日：8月25日（日）

集 合：山科駅 7時50分

山科（東西線太秦天神川行）～三条京阪（京阪本線出町柳行）～
出町柳（叡山電鉄叡山線 八瀬比叡山口行）～修学院

<予定コース>

叡山電車修学院駅→きらら坂→大比叡三角点→ケーブル延暦寺駅→無動寺坂→京阪松ノ馬場駅（歩行時間約4時間30分）

*下見の結果、きらら坂登山口からしばらくは去年の台風の影響などで道が荒れていますが、安全に通れることを確認しました。

*暑い時期ですので歩行時間は少なめに、木陰でちょっとしたお茶会のまねごとをして一息入れる予定です。



呉枯ノ峰(くれこのみね) 田上山 菅山寺

初秋 湖北の木ノ本駅から 呉枯ノ峰(くれこのみね) 菅山寺 田上山を歩きます。北国街道の往時を偲びつつ、木ノ本地蔵に参拝、呉枯ノ峰一等三角点を踏み、菅原道真が幼少期を過ごした菅山寺を訪れます。道真公手植えのケヤキ、朱雀池、壊れかけた無住寺が諸行無常をさそいます。帰りは田上山、天下人の異父弟豊臣秀長公の野戦跡を訪ね、ふもとに下り立ちます。

歩行時間約4時間30分 木ノ本駅解散

参考資料 NHK取材班編『その時 歴史が動いた 菅原道真』『みーな びわ湖134号 東風吹かばひかり起こせよ 菅山寺』長浜みーな協会 『夢のまた夢1巻 賤ヶ岳』津本 陽 文芸春秋

- 日 程 9月1日(日)
- 集 合 木ノ本駅前広場8:30
- 行 程 駅→登山口→呉枯ノ峰千田三角点→呉枯ノ峰→菅山寺、呉枯ノ峰分岐→大箕山→菅山寺(昼食)→菅山寺、呉枯ノ峰分岐→田上山→田上山登山口→木ノ本駅



湖南アルプス 大戸川吉祥寺谷（沢登り）

（報告：K.M.）

【山行日】 2019年7月7日（日）
天候 曇り

【参加者】 9名

【コースタイムなど】

（8：10）新免バス停集合、いつもは獣除けゲートの先にある古墳付近に停めるのですが、この日は既に5台ほどの車が駐車していました。そのため、車の移動等で時間を費やしました。

（8：50）入渓ポイントで沢装備を身に着け、入渓。

（写真①）10分ほど進むと小さな滝が現れます。上流から見て右（右岸）は登るのは難しいが濡れずにすみます。左岸は登るのは簡単だが一旦流れを横切るため濡れます。各自好きなコースを選んで進みます。

（写真②）さらに半時間ほど行くと形のよい二条の滝です。

（写真③）ここは左岸の壁に沿ってを登ります。

（10：00）大きな砂防ダムに突き当たります。ここは左岸を大きく高巻き、尾根の端を越えて急斜面を下り砂地の広場に降ります。高巻の道ははっきりしています。ここから少しは花崗岩の風化した砂地の流れを歩きます。

（写真④）腰まで水につかって歩きます。



（10：35 写真⑥）チョックストーン（溝に挟まった岩）の滝です。

(写真⑥) ここは左側の水流に沿った溝にそって登ります。ロープで確保しました。



(11:25、写真⑦) 再び大きな砂防ダムです。左側（右岸）を高巻きます。最初は踏み跡がありますが、次第に怪しくなり、ダムを越えてからはイバラもある急な草付き斜面をずりずりと下ります。下りきったところは浅い水面で、湖底は柔らかいものの、そんなに潜りません。初めての時は底なし沼ではないかと怖かったです。



(写真⑧) 少し行くと明るいナメ（滑）が現れます。

(11:45 写真⑨) ナメで休憩

(写真⑩) ナメを歩きます。

気持ちの良いところを過ぎると、最後はあまり見どころのない浅い流れを歩きますが、北東方向へ斜面を登れば東海自然歩道にぶつかるはずです。



(12:45) 最後の砂防ダムを越えると伏流水で流れはほとんどなく、小さな広場で休憩しました。ここで沢の装備を外しました。



(13:15) 休憩後、北の尾根にある東海自然歩道に向けて、やぶ漕ぎです。所々踏み跡がありますが、別のところに行く踏み跡もあります。コンパスで40度~50度に合わせて、その方向にまっすぐ進んだ方が確実です。最初は尾根をトラバースぎみに横切り、その後は谷を横切って尾根に向かって登る感じです。

(13:40) やぶ漕ぎは、ほぼ予定どおりのルートで東海自然歩道に合流。

(14:50) 東海自然歩道と林道の合流点に到着。

(14:55) 入渓ポイントに到着、無事に下山しました。

吉祥寺谷はスケールが非常に小さいですが、沢登りのいろんな要素（滝、釜、ナメ、高巻、草付、クライミング、へつり、やぶ漕ぎ、ゴルジュなど）がコンパクトにそろっています。



大津市のごく近くにあって、あまり難しいところもないので、沢が初めての人にとっては良いコースと思います。もちろん、沢登りは様々で奥が深いので、沢登りの雰囲気は少しわかる程度ですが。

【沢デビューした方の感想】

(Kさん)

前半はコケが多く、つるつる滑って少し怖いと感じましたが、後半は滑ることも少なく沢を楽しめました！登山道がないので、一歩一歩自分で確かめながら歩く必要がありとても集中力がいりましたが、その分一つ登るごとに達成感を感じることができました。暑い夏に、滝の中を涼しく登っていけるのはとても魅力的です！

(Yさん)

沢デビュー。足場を迷うと前に進めず。

ためらわず勢いだけで踏み出すと滑り、こけてドボン。全身水浸しで、沢満喫でした。

次はもう少し暑い日に入水したいです。

(Yさん)

梅雨の真っ最中でしたが、よいお天気に恵まれ沢登りを体験することができました。下流では足を進めるたびに泥が巻き上がり、水中が見えない中での遡行でした。足探りでなんとか進むと、今度は苔の生えたツルツルの岩で滑るのをこらえ、なんとかやり過ごしたと思ったら、深みにさしかかる。泳いで岩登りをして、砂防ダムを高巻きして…

ロープで確保してもらおう、手で引き上げてもらおう、ザックを押し上げてもらおう等のヘルプに感謝しながら、何とか終了地点までたどり着いたって感じです。

ちょっとした流れでのシャワークライミングを楽しむところまでもまだまだ遠く、あとちょっとの所に足がとどかない体の硬さを何とかしなければ、と焦りの1日でした。

(Hさん)

初めての沢登り。山登りを始めてから1度も考えたことのない沢、完全に違うカテゴリーだと思っていました。まさか自分が沢の中でずぶ濡れになってはしゃいでいるとは思いませんでした。

ハマったりコケたり滑ったりでへろへろになりましたがすごく楽しい思い出になりました。

2019年6月山行記録

山行期間	山域・山名	例会等	参加者数		ブログ掲載
			会員	会員外	
6/1	比良元気村フリークライミング		14		
6/2	鈴鹿山系・高室山(清掃登山)	例会	19	3	○
6/4 ~ 6/6	北関東の山		1	1	
6/4 ~ 6/6	奥多摩・奥秩父縦走(鷹ノ巣山～雲取山～笠取山)		1		○
6/4	鳴谷山(石川県)		1		
6/5	高見山地 学能堂山		2		
6/6	入笠山		2	1	○
6/8	比良山系 ・蛇谷ヶ峰		1	3	
6/9	鈴鹿山系 サンヤリ～天狗堂～黒谷山		2	1	
6/9	鈴鹿山系・三国岳		1	1	
6/9	三上山二の越 岩トレ		13		
6/13	観音峯山		3		○
6/16	六甲山 地獄谷～最高峰		9		
6/18	荒地山・六甲山		1		
6/22 ~ 6/23	白山		4		○
6/22	福井県 大日岳		1	1	
6/22	鈴鹿山系 御池岳		2	1	
6/23	六甲山 地獄谷～最高峰		4		
6/24	比叡山無動寺道(滋賀県)	例会下見	2		
6/25	大峰山系 行者還岳		2		○
6/29	鈴鹿山脈 鎌ヶ岳		1	1	

※ コース、人数等は、事前に提出された計画書に基づいて記載していますので、
実際とは異なる場合もあります。

近郊の三上山、音羽山などの個人山行は、通常は記載しません。

複数の月にまたがる山行は、両方の月に掲載しています。